

ヤンプロから始める標準化業務

2015年1月22日 画像電子学会
第15回国際標準化教育研究会
—国際標準化のための次世代人材育成—

ヤンプロジャパン3期研修生報告

アズビル株式会社
アドバンスオートメーションカンパニー
開発1部1グループ

池田剛

azbil

© 2015 Azbil Corporation All rights reserved.

本日の講演の内容

azbil

- 講演者について
- ヤンプロジャパン3期 受講内容
- 受講後の業務について
- 今後の課題

講演者について



- 標準化に関する業務経験とスキルは...
- ✓ 入社以来、工場・プラントを対象としたオートメーションに関するソフトウェア開発業務に従事している。
- ✓ ヤンプロジャパン研修を受ける前には、標準化に関する業務には一切関与したことがなかった。
- ✓ 英語は、読み書きは多少出来るが、聞くことと話すことについては全く自信がない。



ヤンプロジャパン3期 受講内容

ヤンプロジャパン3期 受講内容(1)



- 計11回の座学
 - ✓ 「標準化作業」の詳細ではなく、標準化および国際ビジネスに必要なスキルの習得を目的とする。
 - ✓ 「交渉術」から「テーブルマナー」まで
 - ✓ 主任講師:原田節雄先生(元ソニー(株)スタンダード&テクノロジー-アライアンス戦略グループディレクター)

- 国内実地研修
 - ✓ 産総研(つくば)/IDEC(大阪)/阪大菅沼研究所(大阪)

- 海外実地研修
 - ✓ 中国 深セン/チェコ プラハ/ドイツ フランクフルト

© 2015 Azbil Corporation All rights reserved.

5

ヤンプロジャパン3期 受講内容(2)



- 3期プログラムの特徴
 - ✓ 受講者が25名に増えた。
 - ✓ 海外実地研修制度が導入された。

- 海外実地研修制度
 - ✓ 中国 深セン
 - 国際会議(IEC TC100/TA15)のオブザーバー参加
 - 産・官プロジェクト スマートシティ視察(大連)
 - ✓ ドイツ フランクフルト
 - 国際会議(IEC TC105)のオブザーバー参加
 - IEC本部訪問(ジュネーブ)
 - ✓ チェコ プラハ
 - 国際会議(IEC TC3)のオブザーバー参加

© 2015 Azbil Corporation All rights reserved.

6

ヤンプロジャパン3期 受講内容(3)



- 研修によって得られた成果
 - ✓ 国際標準化の重要性を認識した。
 - ✓ 国際ビジネスの具体的な取り組みを学ぶことができた。
 - ✓ 国際会議・プロジェクトの進行について学ぶことができた。
 - ✓ 社外に、同世代の国際ビジネスに携わる方々の知己を得られた。



受講後の業務について

受講後の業務について(1)



- 国際標準化業務の追加
 - ✓ 従来の業務には引き続き従事し、加えての業務となる。
 - ✓ 標準化担当部署との協働
 - 社内の国際標準化活動強化の流れに沿う。

- 標準化業務内容
 - ✓ 制御ネットワークのサイバーセキュリティ分野の規格を担当
 - ✓ 該当する国内委員会委員
 - ✓ 政府系組織である制御セキュリティコントロールセンター(CSSC)のWGに参加
 - ✓ 国際会議の議事等から情報収集

受講後の業務について(2)



- 担当規格の紹介

- 工業用オートメーション分野の規格 IEC TC65
 - ✓ SC65A～SC65E、WG1～19と巨大な組織
 - ✓ システムのアラーム、バッチ処理、無線機器、etc...
 - ✓ 一部の規格は、国際計測制御学会(Industrial Society of Automation: ISA)の規格と表裏一体

受講後の業務について(3)



- 担当規格の紹介

- 担当するサイバーセキュリティ規格
- ✓ WG10: Security for industrial process measurement and control - Network and system security
- ✓ ISAで作成された規格がそのまま横流しでIEC規格となる。
(規格番号まで同じ!)
- ✓ 利害関係者は、ユーザー(巨大石油プラント会社)・システムインテグレーター・セキュリティベンダー
- ✓ 「機能安全」など、他の企画の担当者が多く参加している。



今後の課題

今後の課題(1)



- 個人的な課題
- ✓ 英語力の欠如
- ✓ 担当製品以外の知識不足

→ 英語力不足にばかり意識を奪われていたが、まずは「知識」必要な知識を備え、「戦略」を練って臨まなければならない。

卓越した英語力がなくても、優れた功績を残しておられる方々は多くおられる。

※ とはいえ、最低限の英語力は必要であり、現状の自分には備わっていない。努力が必要。

今後の課題(2)



- 構造的な課題
- ✓ 企業として活動する以上、具体的な「利益目標」が必要となるが、短期的に結果が出るようなものではない。
- ✓ 継続的に国際会議に参加して欧米諸国の信頼を得ないと、スタートラインに立てない。
→ 相反する上記の事実を解決するには？
- ✓ 企業の経営戦略に取り入れる必要があるが、理解を得られるか？
それだけの投資をする余裕はあるか？
経営層ではない立場として、何ができるか…